



# 二川宿まち並み通信

第33号 令和6年1月1日  
発行：‘二川宿’まちづくり会  
大岩町東まちづくり会  
大岩中まちづくり会  
協力：豊橋市都市計画課

迎春

## 今年も“二川宿の魅力アップ”に頑張ります！

～ 辰のように活気に満ちた年でありますように ～

新年あけましておめでとうございます。  
本年が、皆さまにとって素晴らしい一年であることを心から祈念いたします。

昨年は、コロナ禍もあけて4年ぶりに「灯籠で飾ろう二川宿」（同開催実行委員会主催）をはじめ、「二川宿本陣まつり 大名行列」（同開催実行委員会主催）が開催され、大変な賑わいを見せていました。また、商家「駒屋」では恒例の夜店も開催され、子どもたちの楽しそうな笑い声が響き渡っていました。

私たちまちづくり会もこれらのイベントに合わせて取り組みを行い、イベントを盛り上げました。

また、皆で協力してまち並み景観づくりに取り組んだことで、着実に二川宿の魅力がアップしてきたと感じています。歴史的なまち並みに調和した建物の整備やまち並みを彩る季節の飾り付けなど、様々な取り組みを絶やさず続けてきた成果だと感じています。

今年も皆で協力し、二川宿の魅力をさらに高めていきたいと思っております。



山本会長  
‘二川宿’  
まちづくり会



小杉会長  
大岩町東  
まちづくり会



横田会長  
大岩中  
まちづくり会



●「岩屋緑地に親しむ会」により本陣前に設置された門松

◆ 昨年の振り返り（まち並み）・・・皆でつくったまちづくり協定に沿って景観整備が着実に進む！



### 宿場町に調和した建物の増加で イベントが映える！

▲ 7月に開催された「灯籠で飾ろう二川宿」：景観整備が進んだまち並みと灯籠のあたたかな光が一体となり、幻想的な雰囲気が生み出された。



▲ 11月に開催された大名行列：落ち着いたまち並みを背景にお姫様が映える。

旧街道沿いなどでは、コロナ禍の間も、家々やお店の景観整備が着々と進みました。

久しぶりに開催された「灯籠で飾ろう二川宿」や「二川宿本陣まつり 大名行列」は、沿道の景観整備が進んだことで、以前よりも一層映えるようになり、宿場町の趣もより深まってきました。

◆ 昨年の振り返り（住民活動）・・・活気が戻ってきた二川宿の魅力アップに貢献！

● ‘二川宿’ まちづくり会

季節を彩る一輪挿しの飾り付けや二川宿まちなか公園の清掃を行いました。ようやくこれまでの日常が戻り、恒例の「夜店」では、子どもたちの笑い声が溢れていました。



▲ 一輪挿しの飾り付け

● 大岩町東まちづくり会

昨年は、大名行列に合わせて4年ぶりにバザーを開催し、手作りの木工雑貨やアクセサリ一、陶器を販売しました。

また、街道への季節の花の飾り付けや二川公園の清掃も引き続き行いました。



▲ 大名行列でのバザーの様子

● 大岩中まちづくり会

春にはさるぼぼ雛、夏には風鈴を軒先に飾り付けました。また、木製プランターボックスに草花を飾り、旧街道を彩りました。大岩中第2公園の清掃も継続し、今年は参加者を増やす予定です。



▲ 風鈴の飾り付け

トピック1

歴史ある建物の保存の機運を高める取り組み！

～ 自邸をイベントに合わせて公開 ～

二川宿では、時代の流れとともに、歴史ある建物が減少してきています。そんな中、旧宿場町の東寄り(二川町東町)にある山本さん(‘二川宿’まちづくり会会員)は、明治25年建築の伝統的な建物を大切に、イベントに合わせて公開しています。昨年11月に開催された大名行列の際にも、和の飾りつけを行い、来訪者をおもてなしました。

訪れた人々は、山本さんのお話を熱心に聞き、新築ではつくれない味わいある空間に感嘆していました。

こうした取り組みが二川宿でさらに広がるといいですね。



上: 切妻平入りつし二階の伝統的な外観(景観整備助成金第1号で再生)

左: 着物や吊るし飾りで彩られた美しい空間

所有者の山本さんの思い

二川宿の歴史ある建物の良さを皆さんに知ってもらいたいと思い、イベントに合わせて自宅を公開しています。二川宿の財産でもあるこの家を、今後も大切に引き継いでいけたらと思います。

トピック2

アートの表現の場として、歴史ある建物の注目度がアップ！

～ 「駒屋・三ツ田屋 Art Project 2023」開催 ～



▲ 曲がり梁のある空間と一体となった作品の風景(三ツ田屋)



▲ 商家「駒屋」(江戸末期)



▲ 三ツ田屋(大正)



▲ 格子から漏れる光と融合した作品(商家「駒屋」)

昨年11月、歴史的な建物を会場に、「駒屋・三ツ田屋 Art Project 2023」(同実行委員会主催)が開催されました。近年では、作品と周辺空間全体をアートとして表現するインスタレーションと言われる芸術表現が盛んになっています。二川宿に残る歴史ある建物は、そうした表現の場として大きなポテンシャルがあるとの認識が広がってきました。

歴史を感じる味わいある空間と一体となったアートの体験は、訪れた人たちに新鮮な感動を与え、二川宿の新たな魅力にもなりました。今後も、こうした取り組みがさらに広がっていくことが期待されます。

★ 別会場でもアートイベントを同時開催！

旧二川宿の中央付近にある大正時代の建物「futagawa cross-point 155」では、芸術家グループ「Lamp」がアートイベントを同時開催し、二川宿を巡るアートの旅を盛り上げました。

